

景観まちづくりのアイデア

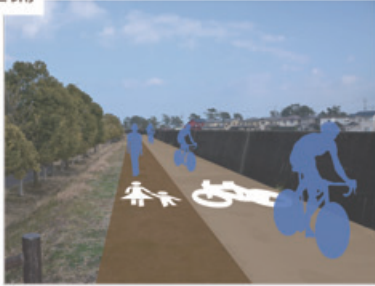
空き家・空き地の活用

寺家地区内の空き地や空き家を地域の資源として活用します。例えば、空き家を伊勢型紙や鈴鹿窯など地域の伝統産業を体験しながら短期の生活が出来るゲストハウスとして活用したり、空き地を緑化して散策路として整備することなどが考えられます。



海岸・川沿いの散策路整備

鼓ヶ浦海水浴場沿いや川沿いの堤防道路は自動車の交通量が多く危険です。自動車の通行を規制し、歩行者・自転車などが快適に散策やツーリングができるように散策路として再整備します。



案内看板の設置

まちの見どころや景観資源が分かる案内地図を主要な場所に設置します。



まちの歴史の聞き取り

寺家地区の歴史をよく知っている語り部的な人に話を聞き、昔の事を聞き取り、地区のオーラルヒストリー本としてまとめます。
(オーラルヒストリーとは、語り手が個々の記憶に基づいて口述した歴史を記録としてまとめることです)



不断桜の保存

子安観音寺の境内にある国の天然記念物「不断桜」は地域の宝です。車の排ガスや根を傷めないように、不断桜の近くに駐車しないように配慮します。



景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討

1) ブロック塀の立ち並ぶ路地の場合



- ・迷路状の路地は寺家地区の特徴なので残していきたい
- ・地震時にブロック塀が倒れて避難できない可能性がある

ビフォー（現状）



- ・ブロック塀を板塀に変えていく
- ・板塀化する際には、行政の補助が求められる
- ・地権者の同意が必要

アフター（提案）

2) 子安観音寺の参道空間の場合



- ・伊勢街道でもあり、正面に子安観音寺が見え、道路沿いに歴史的建造物が建ち並ぶ寺家地区の重要な場所である
- ・景観的に電柱が邪魔である

ビフォー（現状）



- ・参道空間を景観重要公共施設に指定し、整備する
- ・電柱を地中化する

アフター（提案）

鈴鹿市寺家地区の景観資源マップ

はじめに

寺家地区の景観資源マップは白子公民館と三重大学都市計画研究室の共同研究「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン2014」の中で7回に渡り実施された白子まちづくり講座により制作されました。

- 第1回まちづくり講座(2014.5.15)
・昨年度の振り返り、今年度の取り組みのガイダンス
- 第2回まちづくり講座(2014.6.19)
・景観資源分析地図の作成、守るべき景観のリストアップ(寺家地区・白子地区・江島地区)
- 第3回まちづくり講座(2014.7.23)
・まち歩き1(寺家方面)、景観資源の確認
- 第4回まちづくり講座(2014.8.21)
・まち歩き2(白子方面)、景観資源の確認
- 第5回まちづくり講座(2014.9.30)
・まち歩き3(江島方面)、景観資源の確認
- 第6回まちづくり講座(2014.11.26)
・景観資源マップ案の発表・修正意見の検討(寺家地区・白子地区・江島地区)
- 第7回まちづくり講座(2015.1.14)
・景観資源マップの発表
・景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討



寺家地区の位置づけ

寺家地区は鈴鹿市景観類型区分図によると、面的区分の「市街地」、景観類型の「海岸」に位置づけられています。



寺家地区の景観資源

景観資源を分析するためには、地区形成の歴史を把握し、地区の構成要素を分析する必要があります。これらの分析により、寺家地区には大きく4つの特徴的な景観的まとまり（迷路のような路地のある古い町並みの景観的まとまり、緑あふれる公園の景観的まとまり、川沿いの景観的まとまり、海岸沿いの景観的まとまり）が存在し、景観資源については、歴史・文化的景観資源、自然的景観資源、水辺的景観資源の3つに分けることができます。



歴史・文化的景観資源

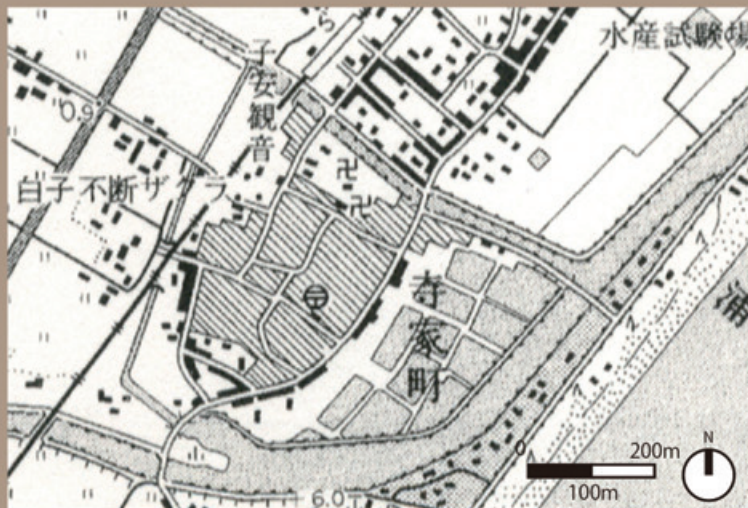


自然的景観資源



水辺的景観資源

都市形成の歴史



出典：1/25000地形図「白子」(明治23年測量・昭和44年改測、昭和45年発行、国土地理院)

昭和44年
(1969年)

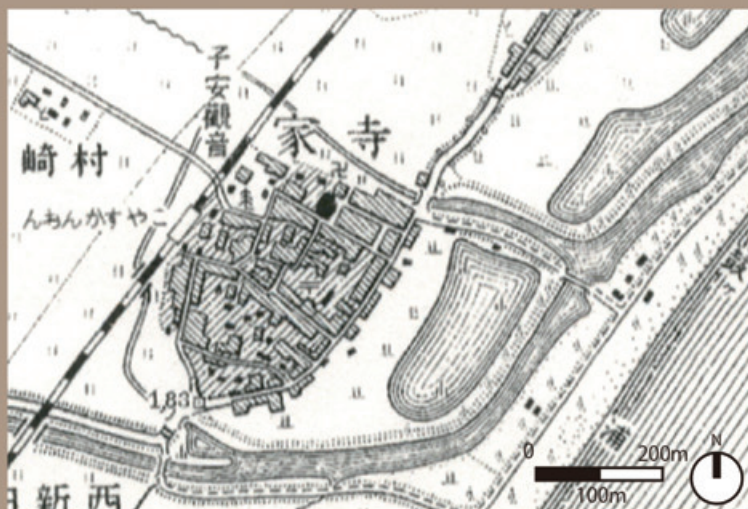
駅が北東側に移設され、鼓ヶ浦駅と改称されました。駅の東側に新市街地が形成されています。また、養鰻場が埋め立てられています。西側では国道23号線が開通しています。



出典：1/25000地形図「白子」(昭和44年改測・平成19年更新、平成19年発行、国土地理院)

平成19年
(2007年)

養鰻場跡地が公園・住宅地として整備されました。また国道23号線沿線沿いに市街地がスプロール的に拡大しています。



出典：1/25000地形図「白子」(大正9年測図、大正11年印刷・発行、大日本帝国陸地測量部)

大正9年
(1920年)

大正4年に伊勢鉄道白子～一身田町開通時に子安観音駅が子安観音寺西に設置されました。折れ曲がった伊勢街道沿いに町が形成されていることが分かります。

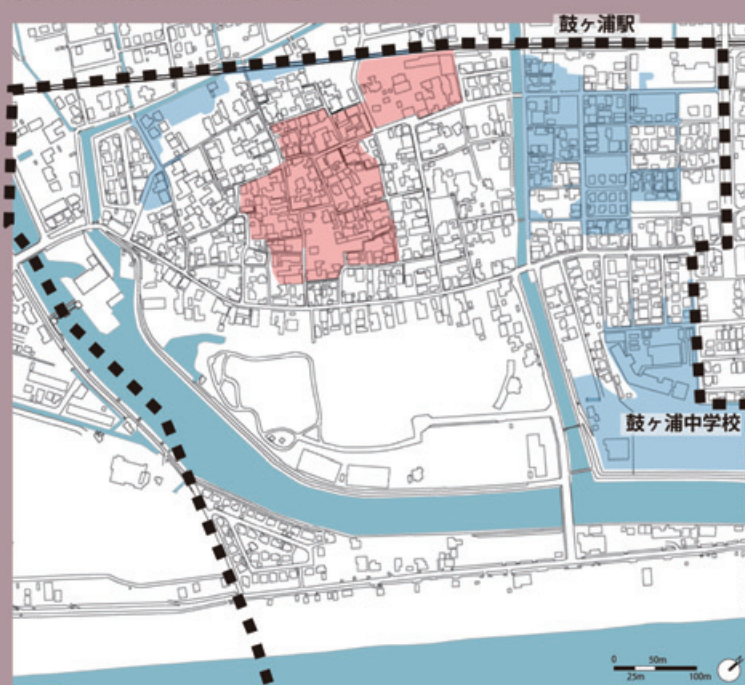


三重県白子都市計画街路決定の件(昭和17年内務省告示第681号)付図(江戸期の絵図と思われる)

江戸期

江戸期の寺家は観音寺の門前町として発達したことが分かります。

都市の構成要素毎の分析



土地の高さ

■ 1m以下
■ 2m以上

比較的平坦な土地ですが、寺家の古いまちは地盤が高く、鼓ヶ浦駅周辺、鼓ヶ浦中学校周辺は地盤が低いことが分かります。



緑地

まちなかには緑地は少なく、子安観音寺や西方寺・正因寺境内などに見られるのみです。鼓ヶ浦サンスポーツランドや鼓ヶ浦海水浴場沿いには豊富な緑が存在します。



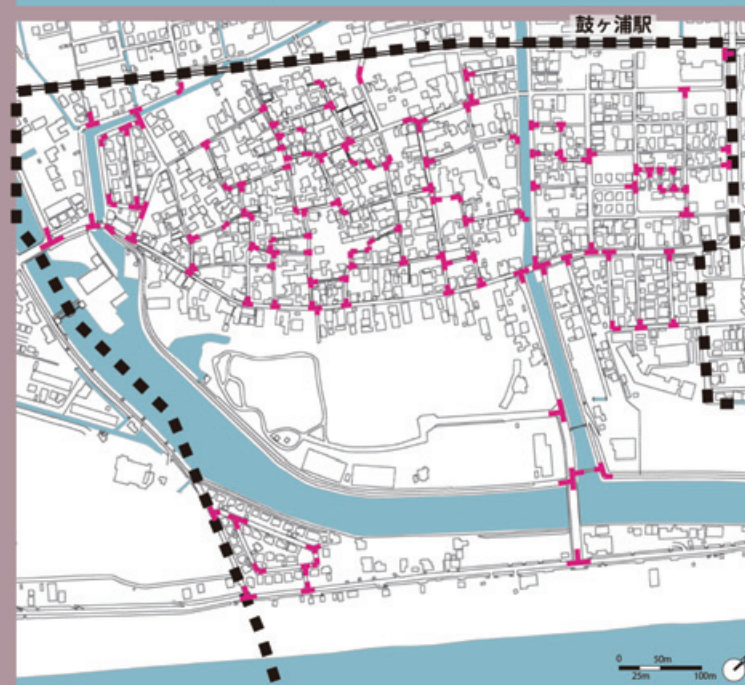
開発時期

■ ～大正9年(1920年)

■ 大正10年～昭和44年

■ 昭和45年(1970年)～

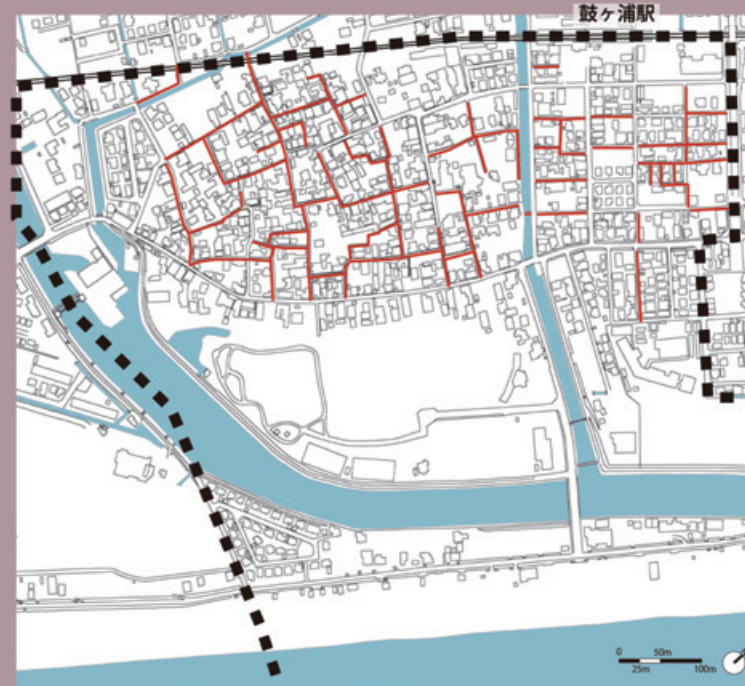
細い路地沿いに形成された寺家のまちは江戸期に子安観音寺の門前に発達しました。大正期に設置された鼓ヶ浦駅周辺に市街地が拡大している様子が分かります。



街路形態

■ L字 ■ T字

寺家の古いまちなかではL字やT字の街路形態が多く見られます。



細街路
(4m未満)

寺家の古いまちなかや鼓ヶ浦駅前の古い住宅地で細街路が多く見られます。





比佐豆知神社

子安観音寺

子安観音寺

西方寺

石臼が埋め込まれた石垣

正因寺

盆屋川

鼓ヶ浦サンスポーツランド

堀切川

蔵

蔵

歴史的建造物 *1

- 寺社
- 蔵
- それ以外

歴史的建造物が集積するエリア

開発時期

- 大正9年(1920年)以前
- 昭和44年(1969年)以前
- 昭和45年(1970年)以後

重要な *2 歴史的建造物

伊勢街道

*1: 実際の建設年ではなく目視で概ね50年を超えていると判断した建物を歴史的建造物として選定しました。
*2: 建物の状態がよい、きれいに改修されている、歴史的価値が高いなどの理由で重要な歴史的建造物であるとまちづくり講座の中で検討した結果です。

寺家地区の歴史的建造物をみると、町家建築と共に道路側に小さな庭を持つ住宅が特徴的です。伊勢街道沿いに多く見られる一方で、迷路状の路地沿いにも歴史的建造物を見ることができます。

歴史・文化的景観資源



参道のアイストップ*1にある子安観音寺（歴1）
*1：アイストップとは、人の視線を受け止めて注意を引くための建型や樹木などのことです。



路地のアイストップにある西方寺（歴2）



格子戸のある古い建物



迷路状の路地



正因寺（歴3）



鈴鹿市伝統産業会館（歴4）



蔵



蔵



鼓ヶ浦の石碑（歴5）（白子地区にも1箇所あり）



句碑・歌碑群（歴6）（海岸沿い）



榎荘翁碑（歴7）



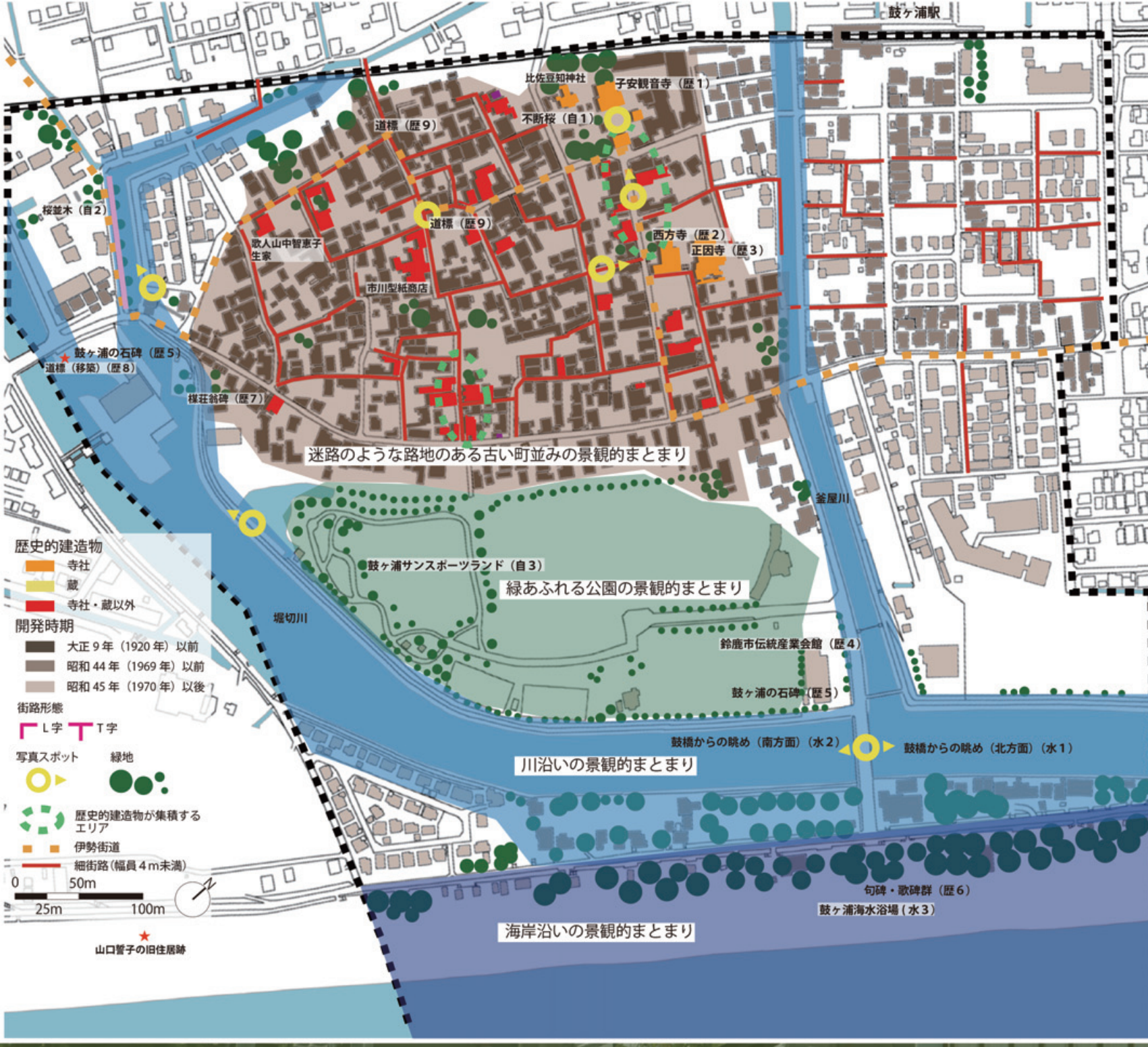
道標（移設）（歴8）



伊勢街道沿いの道標（歴9）



伊勢街道沿いの道標（歴9）



自然的景観資源



子安観音寺境内の不断桜（天然記念物）（自1）



桜並木（自2）



鼓ヶ浦サンスポーツランド（自3）

水辺的景観資源



鼓橋からの眺め（北方面）（水1） 鼓橋からの眺め（南方面）（水2）



鼓ヶ浦海水浴場（水3）

鈴鹿市寺家地区の景観資源マップ
寺家地区の景観資源マップ